

令和4年度 事業計画書

I 基本方針

本県の畜産は、恵まれた生産基盤と畜産物の需要に支えられ、農業産出額の約3割近くを占め、資源循環型農業の要としての役割も担いながら農業の基幹部門として重要な役割を果たしている。

しかし、配合飼料価格や資材価格等の高止まりにより、経営の合理化、生産コストの低減に向けた取り組みが求められており、家畜の損耗防止対策、経営及び生産技術の向上対策、飼料自給率向上対策が急務となっている。

このため、協会は、国や県の行う畜産関連施策と連携を密にし、幅広い視点から総合的な指導体制の充実強化を図りながら畜産経営の安定と更なる発展のため、次の重点施策を積極的に実施し本県畜産の振興を図る。

II 重点項目

1 経営支援対策（継続1）

- (1) 畜産経営の安定と生産性向上を図るため、生産技術の支援及びインターネットによる情報の配信などの総合支援
- (2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（通称：牛マルキン）の推進
- (3) 肉用子牛生産者補給金制度の推進
- (4) 肉用牛経営安定対策補完事業の推進（肉用牛ヘルパーの推進等）
- (5) 堆きゅう肥の耕種農家と連携した利用促進及び自給飼料の確保推進
- (6) 県産畜産物の普及推進

2 家畜衛生対策（継続2）

- (1) ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫（EBL）及び牛ウイルス性下痢（BVD）の感染拡大防止、家畜伝染病の発生・流行防止のワクチン接種推進及び家畜防疫互助事業への加入推進
- (2) 死亡牛（96月齢以上等）の適正な処理体制の支援
- (3) 修学資金の給付による獣医師の安定確保
- (4) 農場HACCP認証に向けた構築指導の支援

Ⅲ 事業別計画概要

一般会計

1 経営支援対策（継続1）

1. 補助事業

（1）肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

（機構補助・事業費 7,425,000 円+6,020,000 円）

①制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正かつ円滑な実施体制の確立を図る。

②指定協会運営体制支援事業

- ・肉用子牛の個体識別、個体登録、販売、保留、異動の確認
- ・家畜市場における肉用子牛の取引情報収集及び農畜産業振興機構への報告

（2）肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助・事業費 16,285,000 円）

肉用牛生産が中山間地域等の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしていることを踏まえ、繁殖雌牛の増頭の取組や高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援し多様な肉用牛繁殖経営の実現を図る。

①中核的担い手育成増頭推進（奨励金単価：80,000 円/頭、100,000 円/頭）

②優良繁殖雌牛導入支援（奨励金単価：40,000 円/頭、50,000 円/頭）

③肉用牛ヘルパーの推進（補助率：1/2）

（3）地域畜産支援指導等体制強化事業（地全協補助・事業費 16,262,000 円）

畜産農家の安定的経営を目途に基幹職員を配置し、国及び県等の各種事業の推進による畜産指導を効果的に行う体制の整備強化を行う。

①畜産経営の支援体制強化を図る事業

ア 畜産経営の支援指導を行う。

イ 若手及び女性を中心としたネットワーク作りのため研修会や交流会を開催する。

ウ 堆きゅう肥の流通及び生産技術の向上を図るため、展示会等を開催する。

エ 支援指導活動実施に必要な人材確保、育成を行う

オ 畜産経営に対する基盤強化支援を行う

カ 新規就農、担い手確保のための支援を行う

②地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資する事業

ア 県産畜産物（牛、豚、鶏、はちみつ等）の普及啓発を図るため消費者等へ向けたPR活動や食育等の研修会を開催する。

イ 農場 HACCP 認証活動に関わる農場 HACCP 指導員育成に取り組む。

ウ 家畜の疾病が多様化していることから地域で抱えている、家畜の衛生対策を図る

③馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

地方競馬の活性化、畜産の普及啓発を図るため畜産フェアを開催する。

- (4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助・事業費 5,195,000円）

畜産特別資金借受者の経営改善のための経営改善計画の作成・見直し等の指導助言及び畜産特別資金が必要であると思慮される経営体への指導助言を実施する。

2. 受託事業

- (1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度事業（機構委託・事業費 10,958,000円）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した時に肥育牛補填金を交付することにより、肉用牛肥育経営の安定化を図る制度で、肉用牛生産基盤の拡大に資する。

①事業期間：令和4年度～令和6年度（第2業対）

②交付条件：肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合にその差額の9割を上限として交付する。

③契約計画頭数・負担金単価等：

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計	備考
契約頭数(頭)	5,900	6,000	11,000	22,900	
1頭当負担金(円)	17,000	19,000	19,000		

- (2) 畜産経営支援体制確立事業（県委託・事業費 2,400,000円）

高度な技術を基盤とした生産性の高い畜産経営体や主要な担い手を育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導による畜産振興を図る。

①地域指導相談窓口の設置

②畜産経営体の総合支援指導

③ホームページによる情報提供

- (3) 畜産クラスター全国実態調査事業（中央畜産会委託・事業費 240,000円）

畜産クラスターの取組推進に係る経営体の指標作成のための調査を行う。

- (4) 畜産・酪農収益力強化整備特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 3,836,000円）

畜産農家が生産コストの低減、畜産物の高付加価値化、畜産物等の新規需要の創設及び飼料自給率の向上を通じた畜産経営の収益性の向上に必要な機械装置をリース方式により導入する機械導入事業の円滑な推進を図るための支援を行う。（機械導入事業）

- (5) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産ICT事業）（中央畜産会委託・事業費 183,000円）

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・省力化及び生産性向上につながる機械装置の導入支援を行う。

- (6) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託・事業費 1,800,000円）

生産者の組織整備（仲間づくり）と畜産協会内に経営技術、制度資金等各種相談に応ずる専門家（畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、HACCP指導相談員等）を活用した畜産経営窓口を整備する。

(7) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）

（中央畜産会委託・事業費 601,000 円）

酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援や、複数の酪農家がまとまって搾乳等の作業を集中管理するモデル的な集合搾乳施設の設置支援を行う。

(8) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 391,000 円）

畜産経営の近代化と体質強化を図るため、畜産関係機械施設のリース事業により整備したトラクター等飼料生産利用設備及び生乳生産合理化施設の利用状況調査・指導の実施並びに新規貸付のためのPRを行う。

(9) 草地難防除雑草駆除技術実証事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 595,000 円）

草地の生産性向上を図る上で課題となっている難防除雑草の駆除対策として農業者団体が難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を図るための支援を行う。（調査分析：1/2 以内、草地転換：上限 17 千円/10a）

事業費 21,167 千円、補助金 9,693 千円、事業予定面積 109ha

(10) 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（全国肉用牛振興基金協会委託・事業費 1,610,000 円）

畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に増頭実績に応じた奨励金を交付し、牛肉の国内需要の増加と輸出拡大の推進を図る。

①対象者：肉用子牛生産者補給金制度の契約生産者

②奨励金：飼養頭数 50 頭未満 246 千円、50 頭以上 175 千円

③対象上限：1 生産者当たり 50 頭を上限

3. 協会単独事業（自主事業）

(1) 肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 4,695,000 円）

肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託団体に対し、委託事務に要する経費を助成する。

(2) 畜産振興対策事業（事業費 5,800,000 円）

①生産技術の普及と向上を目的に畜産共進会等に対し副賞を授与する。

②研修広報対策の一環として「協会だより」を発行する。

③草地支援対策として、公共牧場及び草地・飼料作物の生産に係る研修会、情報の提供を行うと共に地域の活動を支援し、草地畜産に関する普及啓発活動を実施する。

④各地域における肉用牛生産者を対象とした講習会を開催する。

⑤各畜種の堆肥分析を実施し、堆肥の品質向上につとめ耕種農家のニーズに合わせる普及活動を実施する。

⑥畜産経営の安定的向上を図るため、県内全域について支援指導活動の充実を図る。

⑦畜産に携わる女性の生産技術向上や仲間作りを目的とした研修会を開催する。

⑧農場 HACCP 認証活動に関わる農場 HACCP 指導員育成に取り組む。

⑨県産畜産物普及拡大を図るためPR活動及び食育など推進を図る。

(3) 肉豚経営安定対策推進事業

肉豚経営安定対策事業の円滑な推進を図るために養豚生産者と申請事務等委託契約を締結し、生産者が(独)農畜産業振興機構へ提出する書類の作成代行等の事務を行う。

(4) 馬事畜産振興対策事業

馬事・畜産の普及啓発を図るため、青森県馬事畜産振興協議会を通じて盛岡競馬場の観戦ツアー並びに畜産フェア(県産畜産物の普及)を開催する。

(5) 養蜂対策事業

青森県養蜂協会と共催で「はちみつ品評会」を開催し、はちみつの品質向上を図る。

特別会計

1. 肉用子牛生産者補給金制度基金会計 (機構補助・事業費 5,025,000円)

肉用子牛の再生産の確保と畜産経営の安定を図るため、肉用子牛の価格が低落し国の定める保証基準価格、合理化目標価格を下回った場合に、その価格差を補てんする補給金を交付する。また、基金管理等の適正な運営を行う。

① 個体登録計画頭数 (単位: 頭)

品種区分	黒毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種	計
計画頭数	7,830	70	1,620	2,030	11,550

② 保証基準価格・合理化目標価格 (令和4年度) (単位: 円/頭)

品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

③ 肉用子牛1頭当たりの生産者積立金及び負担区分 (単位: 円)

品種区分	生産者積立金	負担区分		
		農畜産業振興機構	青森県	生産者
黒毛和種	1,600	800	400	400
褐毛和種	6,000	3,000	1,500	1,500
その他肉専用種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種	6,800	3,400	1,700	1,700
乳交雑種	3,200	1,600	800	800

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度基金会計 (生産者積立金・事業費 893,410,000円)

肉用肥育経営安定交付金制度の積立金管理者として基金管理等の適正な運営を行う。

契約計画頭数・負担金単価等: (令和4年度単価)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計	備考
契約頭数(頭)	5,900	6,000	11,000	22,900	
1頭当負担金(円)	17,000 (5,000)	19,000 (13,000)	19,000 (11,000)	- -	(令和3年度)

2 家畜衛生対策（継続2）

1. 補助事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業（国補助・事業費 8,706,000 円）

生産農場における疾病の清浄化及び発生予防対策並びに生産農場における飼養衛生管理の向上等の生産者による自主的な疾病対策を支援する。

①疾病清浄化支援対策

ア ヨーネ病対策

本病の清浄化を図るため患畜同居牛等の自主淘汰の促進（助成額：評価額×2/3）

イ 牛伝染性リンパ腫（EBL）対策

本病の感染拡大防止のための抗体等検査及び農場等の吸血昆虫の防除の促進

ウ 牛ウイルス性下痢（BVD）対策

本病のまん延防止、早期清浄化を図るため、抗体検査及び自主淘汰の促進

②農場飼養衛生管理強化対策

生産農場における飼養衛生管理の向上のため、獣医師による衛生管理指導の推進を行う。

(2) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助・事業費 4,740,000 円）

牛海綿状脳症（BSE）の的確な浸潤状況を把握しBSE防疫対策を検証するため、死亡牛（96月齢以上及び48月齢以上の起立不能牛等）について、その農場から検査保冷施設を経由して化製場等までの適切な管理・輸送の促進及び死亡牛の適正な処理体制を支援する。

死亡牛の管理促進費、輸送促進費及び化製処理費の補助

(3) 獣医師養成確保修学資金給付事業（国補助・事業費 3,843,000 円）

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、獣医師養成確保修学資金を給付し、もって獣医師の安定的確保に資する。（継続2名、新規1名）

(4) 豚丹毒予防接種向上対策事業（市町村補助・事業費 37,000 円）

養豚産業の安定的な発展を図るため、本会が行う豚丹毒予防接種事業に要する経費の一部に対し、関係市町村が本会を経由して生産者に補助金を交付する。

実施市町村： 七戸町（計画頭数：2,500頭、1頭当り15円）

(5) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成・事業費 6,153,000 円）

家畜伝染病の発生予防・まん延防止等を確実かつ効果的なものとするため、地域における自衛防疫活動を推進する。また、家畜畜産物の安全性を確保するために重要な農場HACCP認証に必要な取組を推進する。

①地域自衛防疫推進事業（推進会議の開催、防疫演習等の実施）

②地域疾病対策事業（馬伝染性貧血の自衛検査）

③地域農場HACCP認証支援事業

(6) 野生獣衛生体制整備推進事業（家畜衛生対策推進協議会助成・事業費 1,200,000 円）

全国的な野生獣（シカ、イノシシ）の増加を踏まえ、地域の畜産及び野生獣関係機関、団体等との連携を図り、効果的な衛生実態調査の検討を行う協議会等を開催する。また、猟友会等との協力により捕獲した野生獣からの検査材料の採取・検査による衛生実態調査を行う。

2. 受託事業

(1) 地域豚疾病低減対策強化事業（中央畜産会助成・事業費 13,094,000 円）

地域一体となり、飼養管理基準に基づいて疾病の発生低減・清浄化を目的に、防疫対策強化を図るため、定期疾病検査を実施し農場内の生産性を阻害する原因を解析し、効果的な疾病対策を検討するため推進会議及び講習会を開催する。

(2) 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会委託・事業費 1,491,000 円）

豚熱(CSF)及び口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合に備え、発生農場が経営再開までに必要な経費を生産者が相互に支援を行うための互助基金制度への加入推進を図る。

①対象伝染病： 口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱(ASF)、豚熱(CSF)

②互助金交付： ア 経営支援互助金（事業参加者が経営を再開する場合に計画に基づき導入が完了するまでの空舎部分の固定経費を支援する。）
イ 焼却・埋却互助金（殺処分した家畜を事業参加者が負担した焼却、埋却又は化製処理した費用を支援する。）

(3) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 1,076,000 円）

県内における競走馬以外（農用、肥育、乗用等）の飼養衛生管理環境は、馬関係獣医師の高齢化、偏在化等により脆弱化しつつある。一方、馬の生産、流通の広域化等により伝染性疾病の侵入、流行の危険性も大きいことから競走馬以外の馬の飼養衛生に関する講習会の開催、基礎調査等を実施し馬衛生管理の向上を図る。

(4) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会委託・事業費 7,615,000 円）

①競馬開催に大きな影響を及ぼす競走馬以外の乗用馬、農用馬等への馬インフルエンザの予防接種及び馬生産地での経済的被害の大きい馬鼻肺炎の発生防止のため予防接種の推進により馬防疫の推進を図る。

区分	馬インフルエンザ	馬鼻肺炎(生)	備考
計画頭数	170	250	

②育成馬等予防接種推進事業

最近における馬飼養形態の集団化、大規模化及び頻繁な移動等の実態を踏まえ、生産地における伝染性疾病の発生・流行防止のため、競走用育成馬等について組織的に予防接種を実施して自主防疫の定着を図る。

区分	馬インフル・脳炎・破傷風（3種混）	馬インフルエンザ	日本脳炎	備考
計画頭数	350	50	10	

3. 協会単独事業（自主事業）

(1) 自衛防疫強化対策事業（事業費 600,000 円）

最近における家畜の飼養衛生の実態をふまえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業の効率的な推進に資する。

- ① 推進会議開催（県推進会議、地区推進会議）
- ② 指定獣医師打合会議

(2) 自主防疫推進事業（予防接種事業・事業費 58,760,000円）（その他事業）

家畜伝染病の発生・流行の防止のため、国・県の指導のもとに、生産者・市町村関係団体及び地区家畜衛生推進協議会による防疫体制の強化を図りながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業の円滑な推進を図る。

○ 予防接種事業の種類・計画 （単位：頭、羽）

種 類		計 画	種 類		計 画
牛	牛 ア カ バ ネ 病	6,500	豚	豚 丹 毒 (不 50ml)	6,000
	牛伝染性鼻気管炎 5 種混(生)	10,550		日 本 脳 炎 (生)	500
	牛伝染性鼻気管炎 6 種混(生・不)	155		日本脳炎・豚パルボ混合 (生)	200
	牛ヘモフィルス感染症	9,050	馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	110
	牛クロストリジウム感染症(5 種混)	5,450		馬インフルエンザ (不)	15
	牛 下 痢 5 種 混 合	95		日 本 脳 炎 (不)	45
豚	豚 丹 毒 (生 20ml)	19,700	鶏	ニューカッスル病 (ND)	0
	豚 丹 毒 (生 50ml)	17,000		ニューカッスル病・IB(混)	116,000

(3) 総合指導事業（事業費 900,000 円）

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成並びに指定獣医師の技術向上等を図る。

- ① 研修事業に対する支援
- ② 家畜防疫地域活性化促進事業に対する支援
- ③ 家畜衛生功労者表彰
- ④ 予防接種事業に係る事故対策

(4) 自衛防疫指導事業（事業費 3,783,000 円）

地区家畜衛生推進協議会が行う自衛防疫関連事業及び研修広報事業等について、寄託金を財源として事業の円滑な推進を図る。（東青、三八、上十三、むつ、津軽）

(5) 家畜防疫互助推進事業（事業費 230,000 円）

家畜防疫互助基金支援事業の補完事務を行い事業の円滑な推進を図る。

(6) 死亡牛処理管理促進事業（事業費 1,400,000 円）

死亡牛処理に係る産業廃棄物処理票（マニフェスト）の保管・管理等の適正化を促進する

ことにより、死亡牛処理の円滑な推進を図る。

- ① 死亡牛の産業廃棄物処理票の保管管理の促進
- ② 死亡牛の産業廃棄物処理票の交付等状況報告書の取りまとめ

付 表

1. 自主防疫推進事業（令和4年度）

(1) 家畜伝染病予防接種の計画頭羽数

(単位：頭、羽)

予防接種事業	3年度 計画頭数	4年度 計画頭数	地区協議会別計画頭数					
			東 青	三 八	上十三	む つ	津 軽	
(1) 補助等事業								
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	350	350	協会直接事業				
	馬インフルエンザ(不)	50	50					
	日本脳炎(不)	10	10					
	馬鼻肺炎(生)	250	250					
	馬インフルエンザ(不・自衛防)	170	170					
(2) 協会事業								
牛	牛アカバネ病	6,750	6,500	150	1,600	3,300	950	500
	牛伝染性鼻気管炎5種混(生)	10,590	10,550	150	1,800	6,500	1,500	600
	牛伝染性鼻気管炎6種混(生・不)	155	155	65	10		50	30
	牛ヘモフィルス感染症	9,090	9,050	150	1,800	5,000	1,500	600
	牛クロストリジウム感染症(5種混)	5,810	5,450	200	800	2,800	1,150	500
	牛下痢5種混合(不)	95	95	65				30
豚	豚丹毒(生20ml)	19,700	19,700		2,700	15,000		2,000
	豚丹毒(生50ml)	15,000	17,000		12,000	5,000		
	豚丹毒(不50ml)	6,000	6,000		6,000			
	日本脳炎(生)	500	500			500		
	日本脳炎・豚パルボ混合(生)	200	200			200		
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	110	110	協会直接事業				
	馬インフルエンザ(不)	15	15					
	日本脳炎(不)	45	45					
鶏	ニューカッスル病(ND)	59,000	0					0
	ニューカッスル病・IB(混)	58,000	116,000	2,000				114,000

(2) 家畜伝染病の予防接種手数料一覧表 (令和4年度)

(単位：円/頭・羽)

予防接種事業		予防接種手数料 (内、消費税)		備 考
(1) 補助等事業				
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	2,260	(205)	
	馬インフルエンザ(不)	1,710	(155)	
	日本脳炎(不)	1,000	(91)	
	馬鼻肺炎(生)	7,210	(655)	
	馬インフルエンザ(不活化・自衛防)	1,370	(125)	乗馬クラブ等
(2) 協会事業				
牛	牛アカバネ病	2,350	(214)	
	牛伝染性鼻気管炎5種混(生)	2,230	(203)	
	牛伝染性鼻気管炎6種混(生・不)	2,600	(236)	製品名：キャトルウィン-6
	牛ヘモフィルス感染症	1,450	(132)	
	牛クロストリジウム感染症(5種混)	1,820	(165)	製品名：キャトルウィン-CL(クロスト)5
	牛下痢5種混合	2,600	(236)	
豚	豚丹毒(生20ml)	195	(18)	
	豚丹毒(生50ml)	190	(17)	
	豚丹毒(不50ml)	205	(19)	
	日本脳炎(生)	595	(54)	
	日本脳炎・豚パルボ混合(生)	1,150	(105)	
馬	馬インフル・脳炎・破傷風(混)	3,740	(340)	補助等対象外
	馬インフルエンザ(不)	2,740	(249)	補助等対象外
	日本脳炎(不)	1,510	(137)	補助等対象外
	馬鼻肺炎(生)	13,210	(1,201)	補助等対象外
鶏	ニューカッスル病(ND)	1.7	(0.153)	3,000ドース単位
	ニューカッスル病・IB(混)	2.1	(0.199)	

注：① 手数料は、消費税を含む1頭(羽)当たりの生産者負担額。

② 距離が遠い場合や頭数が少ない場合には、別に往診料の負担をお願いする場合があります。